

母子生活支援施設指定管理者運営評価結果について

1 施設名など

目黒区みどりハイム

母子生活支援施設は、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子、及び、その者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設である。

2 指定管理者

(社会福祉法人) 目黒区社会福祉事業団

目黒区上目黒二丁目19番15号

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

(1) 指定期間

平成18年4月1日から平成21年3月31日まで

平成21年4月1日から平成31年3月31日まで

平成31年4月1日から令和11年3月31日まで

(2) 評価対象期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区子ども若者部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された子ども若者部指定管理者運営評価委員会(4頁、委員名簿参照)において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価及び施設長へのヒアリング等をもとに評価を行った。

5 事業報告書の概要

みどりハイム事業報告書(概要)[5頁別紙]のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

(単位: 千円)

項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	備 考
歳 入	39,707	37,879	38,379	国・都負担金等
歳 出	75,350	72,709	70,069	管理経費(委託料等)

7 評価結果

評価項目	令和6年度 評価	令和5年度 評価	備考
I 組織マネジメントに関する項目			
1 リーダーシップと意思決定 (事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっているか等)	良	良	
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 (事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出しているか等)	良	良	
3 経営における社会的責任 (社会人・福祉サービスに従事する者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいるか等)	良	良	
4 リスクマネジメント (リスクマネジメントに計画的に取り組んでいるか等)	良	良	
5 職員と組織の能力向上 (事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいるか等)	良	優	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 (事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っているか等)	良	良	
II サービス提供のプロセス評価項目			
6-1 サービス情報の提供	良	良	
6-2 サービスの開始・終了時の対応	良	良	
6-3 個別状況に応じた計画策定・記録	良	良	
6-4 サービスの実施	良	良	
6-5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	良	良	
6-6 事業所業務の標準化	良	良	
3 昨年度の指摘事項改善点について	良	良	
4 施設設備の維持管理 (施設設備の維持管理、環境整備)	良	良	
総合評価	令和6年度 評価	令和5年度 評価	備考
	良	良	

※評価項目については、第三者評価項目を基本とする

※子ども若者部指定管理者運営評価委員会による基準

- [優] 極めて優れている
- [良] 必要な水準を超えている
- [可] 必要な水準を満たしている
- [要改善] 改善が必要である

所見	1 リーダーシップと意思決定 ・職員間で理念価値、大切にしている価値が共有されている。利用者への分かりやすさは工夫が必要。
	4 リスクマネジメント ・必要な手順は守られている。 ・「子どもの安全計画」が作成され、行事企画や施設内の事故防止が図られている。
	5 職員と組織の能力向上 ・多忙な中でも研修が良く行われている。 ・職場内研修として支援力アップ研修（全6回）が行われ、継続的な支援の見直しが行われているほか、先駆的な取り組みが行われている他の母子生活支援施設を見学するなど、新しいことを意欲的に学ぶ姿勢がみられる。
	7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 ・設定された目標の実現に向けて具体的な取り組みがされている。
	6－1 サービス情報の提供 ・わかりやすさは一人ひとり異なるので、その人に応じた情報提供に工夫が必要。 ・入所前の見学後に「安心して住めそう」等、施設の雰囲気が良かったと話される方が多い。
	6－2 サービスの開始・終了時の対応 ・入所前、入所時、退所時と適切な時期に面談が実施されている。アフターケアも行われており、利用者・退所者を対象に行われている「ミニパントリー」はアフターケアの重要なツールの一つになっていると思われる。 ・今後の課題として挙げているアフターケアについて、困っていても自己発信が苦手なタイプの方へどうアプローチしていくかを検討事項に含めてもらえたらと思う。
	6－3 個別状況に応じた計画策定・記録 ・子との面談も行って希望を聞いた上で子自身の支援計画も作成され、支援が行われている。 ・子ども会議の積み重ねで、自身の生活を見つめて意見が活発になるとよいと思う。
	6－4 サービスの実施 ・これまでに引き続き、対応が難しいケースにも粘り強く対応されている。利用者にとって安心して生活できる場所になっていると感じる。母子間への介入だけでなく、利用者間のトラブルにも適切に介入されている。 ・行事等に子どもが主体的に関われる取り組みがされている。 ・昨年度は入退所の件数が多かったが、困難な状況にあるケースにも適切に対応されていた。 ・不登校の児童について、現在も見守りや他機関との連絡調整等支援されていると思うが、関係機関とも協力し、今後どのような支援が可能か検討をお願いしたい。 ・他の母子生活支援施設の良い取り組みはぜひ取り入れて行ってもらえたらと思う。予算や人員の面で取り入れやすいものやみどりハイムの課題の改善につながるものを優先的に検討してはどうか。
	6－5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 ・昨年度評価での指摘を踏まえて見直しが行われ、利用者調査の評価が上がったことから、状況改善が図られているものと思われる。
	6－6 事業所業務の標準化 ・家計相談支援に関するマニュアルを作成して職場内研修を実施し、全職員が家計相談支援の手法を学ぶなど、研修で得た知識を組織的に支援に繋げていく取り組みが行われている。

	施設設備の維持管理 施設点検の指摘事項に適切に対処されている。
	○総合評価 - 施設内の雰囲気や職員の表情がとても和やかに感じられた。 意見箱、だれでもノート、子ども会議など子どもの意見を聴く機会を設けていることが評価できる。 みどりキッズクラブやママのためのヨガ教室など地域との交流にも力を入れており、今後のさらなる広がりにも期待したい。 - 全般的に必要な水準を超えており、所管評価を妥当と判断する。施設自己評価もほぼ同内容でありおおむね妥当であるが、職員と組織の能力向上について、「極めて優れている」とまで評価できる部分を、これまでの資料、施設ヒアリングの中で確認することはできなかった。 - 昨年度指摘した意見箱のシステムの修正や、子どもの参加による運営への意見の提出や反映の取り組みはできており、好感を持った。 施設の役割について、現場も管理事業者も正しく理解している。ただ、昨年度も指摘したが、管理事業者としてはできないことも多く、現場と行政との話し合いが欠かせない。とりわけ、母子生活支援施設の役割として、区内で暮らす母子家庭への支援と、施設で保護し、時には広域で避難させることが必要な母子家庭もいることを考えると、こうした相反する課題に対して1施設でどのように対応するのかということを至急考えなければならず、そのためには現場との話し合いを丁寧に進める必要がある。施設の改良でこの2つの役割が済むのなら、広域入所を決断しなければならないし、それに向けた議論を至急しないと、この施設に期待されている役割を果たすことができない。 - 令和6年度は、緊急一時保護の日数とその前年度から激増し、その結果入所世帯も前年度よりも多くなり、年度末は稼働率80%の状況であった。このような状況のもと複雑多様化する支援対象者の課題に迅速に対応している点は評価できる。 意見箱の利用に対して改善を図り、子どもを含め入所者が意見を言い出しやすい環境づくりの工夫を行っている。 地域支援については、建物の構造上難しい部分もあるが、地域とのつながりが持てるような取組について引き続き検討と実現をお願いしたい。 以上のことから総合評価として「良」と評価することができる。

8 子ども若者部指定管理者運営評価委員会委員

職	職 名	氏 名	備 考
委員長	子ども若者部長	後藤 圭介	
副委員長	子ども若者課長	佐藤 公彦	
委員	こども家庭センター長	中尾 真里	
委員	児童福祉に関する外部有識者	森田 明美	東洋大学名誉教授
アドバイザー	公認会計士・税理士 (経営状況に関する検証を行う)	松島 達雄	税理士

みどりハイム事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区みどりハイム
所在地	秘匿施設であることから非公表
施設	母子生活支援施設
根拠法令等	1 児童福祉法 2 目黒区母子生活支援施設条例

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人 目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目 19 番 15 号 目黒区総合庁舎別館 7 階
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月 31 日まで
受任業務	1 入居者の生活指導、保健衛生その他の処遇に関する業務 2 母子生活支援施設の施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 3 施設の設備等の保全及び修繕(区長が指定するものに限る)に関する業務

3 管理業務の実施状況

入所世帯数(人数)		(定員 20世帯 60人)						(各月1日現在)					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6年度	入所世帯数	11	10	10	8	9	12	13	13	15	15	15	15
	入所人数	27	25	25	21	23	30	33	33	37	38	38	38
5年度	入所世帯数	13	14	13	13	12	11	11	11	11	10	10	10
	入所人数	33	35	31	31	29	27	27	27	27	25	25	25
4年度	入所世帯数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13
	入所人数	34	33	33	33	33	33	33	32	31	33	33	33

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

(単位:円)

項目	令和6年度	備考
事業収入額①	76, 353, 363	受託事業収入、受入研修費収入等
事業支出額②	68, 402, 859	人件費、事業費、事務費
差引(①－②)	7, 950, 504	拠点区分間繰入金等